

事業所名

障がい児通所支援事業所おくえつザウルス

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

27日

法人(事業所)理念	「すべての人が主役 あなたと創る地域共生社会」こどもからお年寄りまで、すべての人が安心して暮らしていけるよう 地域をまるごと支え、切れ目のない包括的な支援を提供し、総合福祉の拠点となる専門性の高い法人を目指します。						
支援方針	【児発】お子様の日常生活における基本的な動作の習得や、身の周りのことができるよう支援します。また、集団活動における楽しい遊びを通じ、コミュニケーション力を育みます。 【放デイ】放課後や夏休み期間中など長期休暇中に、安心して過ごせる居場所を提供するとともに、余暇スキルや生活スキルが向上するように支援します。						
営業時間	8時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ■自立訓練(ライフスキルトレーニング)：個別または小集団で将来の生活に必要なスキルの獲得や経験を積む。必要に応じて、手順書等を用いながら、掃除、洗濯、炊飯、買い物などに取り組んでいく。 ■選択おやつ：月1回、自分で食べたいおやつを選択できる時間をつくり、そのなかで適切な要求や拒否の仕方を身につけられるように取り組んでいく。 ■当番活動：責任感や自己肯定感、自己有用感を育む。仕事と報酬の結びつき。炊飯作業、台ふき・配膳、お血洗、掃除等の場面で当番を決め、発達に応じて手順書等も用いて自立して行えるように支援していく。トークンも活用しながら、活動内容や量に見合った対価を提供し、仕事と報酬が結びつくように取り組んでいく。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ■感覚統合あそび：発達の土台である個々の感覚の発達や課題を分析し、感覚あそび等を通して、個々の感覚の課題にアプローチし発達を促していく。 ■運動：粗大運動を通じて、運動機能の促進や健康的な体作り、ルールのある活動のなかで社会性を養う。運動機能の促進、健康的な体作り。また自由時間に体育館で遊ぶ時間を確保し、遊びの内容をこちらで設定せず、自分で選んで遊ぶ力を身につける機会もつくっていく。 ■制作活動：微細運動の発達を促し季節感も味わえる制作物を作成する。その際、見本通りにつくれるか、困ったときに他者に伝えられるかなどの場面も意図的に作る。作成したものを展示し、褒められたり認められたりする経験、達成感を得る成功体験を積み、成長に繋げていく。 ■カラオケ：順番などルールの中で遊ぶ。音楽に合わせて歌ったり、楽器で演奏したりしながら、表現力や想像力を豊かにする。集団活動を通して、協調性や社会性を養う。 ■当番活動 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ■SST(ソーシャルスキルトレーニング)：社会生活に必要なスキル、知識を身につける。小学部は友だちの誘いや困っている時の助けの求め方、拒否の仕方などを分かりやすく学び、日常の具体的な場面でも伝えていき、一般化できるように取り組んでいく。中高等部は卒業後に向けて、社会性や異性関係(距離感など)、良好な対人関係の作り方、トラブル回避などをわかりやすく学ぶ。 ■選択おやつ ■感覚統合あそび ■PCクラブ：パソコンやiPadに慣れ親しみ、趣味や余暇をひろげる。将来の可能性をひろげる。興味や好奇心が高い活動のなかで、「できた!」という達成感を味わい、自己肯定感、自己効力感を高める。ルール順守。主に中高等部を対象に放課後や長期休暇(土曜日含む)を利用して個々に応じたPCの活動を展開していく。行事や活動等で使用するものの制作依頼も受け、PCスキル(Word、Excel、PowerPoint、Canva等)を身につける機会をつくっていく。 ■就労にむけた職業体験：将来のことや就労に対して考える。仕事の選好を知る。中高等部に対して個別でニーズ、必要性があれば、法人内での職業体験等も企画、実施していく。また法人内の事業所で働く卒業生から話を聞く機会をつくり、就労への意識や意欲が高まるように取り組んでいく。 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ■SST ■自立訓練 ■選択おやつ ■制作活動 ■カラオケ ■PCクラブ ■就労にむけた職業体験 ■委員会活動(図書委員会、玩具委員会)：他者との関わり方ややりとりを学ぶ。他者理解を図りながら協動的に話し合う力を身につける。3か月に1回程度行っていく。中高等部を中心に委員会を組織し、ザウルスで必要な図書や玩具を、アンケートや聞き取りなどの手段を用いて抽出してもらい、設定された予算内で購入してもらう。購入伺いの記入などルールに則って取り組んでもらう。 					
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ■SST ■自立訓練 ■選択おやつ ■運動 ■制作活動 ■カラオケ ■PCクラブ ■委員会活動(図書委員会、玩具委員会) ■就労にむけた職業体験 					
家族支援	通常時、お迎え時の申し送り、LINEなども活用し、情報共有などを密に行う。年に1~2回、ペアトレ体験や保護者座談会などを実施する。	移行支援	学校や相談支援員と情報共有を密に行い、将来に向けて支援していく。				
地域支援・地域連携	保育園・教育機関や行政、地域の放デイ、地域の児童館、相談支援員ら、県内の児童発達支援事業所等と情報共有を密に行っていく。	職員の質の向上	年間計画を立てて事業所内研修を実施、外部の研修にも参加する機会を確保し、職員の資質や専門性の向上に努めていく。 また、Special Learning等のオンライン研修ツールも用いて、オンデマンドでも学びやすい環境も整えている。				
主な行事等	4月：お花見、防犯訓練 5月：Zカフェ、避難訓練(火事)、AED研修 6月：保護者座談会、救急時の対応訓練 7月~8月：ザウルス商店、かき氷づくり、すいか割り、緑日、eスポーツ大会 10月：ハロウィン 11月：避難訓練 12月：クリスマス会、Zカフェ 1月：新年会 2月：節分 3月：卒業進級お祝い会 など						